

年 組 名前:

レトロな横丁 飲食店続々

富士河口湖・小立貸店舗街で5店開業へ

富士河口湖町小立の貸店舗が並ぶ築50年超の「小立ショッピングセンター」に、飲食店の出店が続いている。約10年前から営業する店はなかつたが、古い看板が残るレトロな外観を魅力に感じた出店者が増え、4月ごろまでに5店がオープンする予定。所有者の渡辺宏和さん(50)＝同町小立＝は「地域が盛り上がりつついけばいい」と話している。

〈武田寛明〉

「小立ショッピングセンター」は、1971年に建てられた住居スペース付きの貸店舗。計6テナントあり、通路を挟んで3テナントが向き合う構造となっている。

渡辺さんによると、当初は肉屋や魚屋、八百屋などが入居し、地域住民の買い物場としてにぎわっていた。その後、スナックやお好み焼き店、ラーメン店などが並ぶ飲食街に変わったが、店主の高齢化などから徐々に店が閉まり、2014年までに全て閉店。住居として借りている人だけに

なっていた。

町内で建設業を営む渡辺さんは、富士北麓地域には大勢の観光客が訪れる一方、飲食店が少ないと感じていた。「地域が盛り上がるきっかけになれば」と外

壁などを改修し「ヘーから横丁」と命名した。由来について「最初は『ハイカラ横丁』にしようと思ったが、古い建物なのでなまりを入れた」という。

知人で不動産業を営む外川ゆりかさん(33)に相談し、昨年から入居者を募集。店舗内には古いシンクやカウンタが残り、「なかなか

借り手を見つけるのは大変だった(外川さん)が、レトロな外観を魅力に感じる人も多く、現在までに5店舗の入居が決まった。

昨年12月に和食料理店を構えた森田純止さん(29)は「自然が豊かな場所であり、建物もレトロで魅力的。ここで働ければ楽しいだろう」と考えて決めた」と話す。住居スペースも店として活用している。渡辺さんは「観光客においしい料理を楽しんでもらえる、にぎわいの場所になればいい」と話している。

(2025年2月11日付 山梨日日新聞17面)

問1 2014年までに全て閉店した貸店舗に、出店者が増えています。その理由を教えてください。

.....

問2 新しい店が入ることで、貸店舗街の名称を、どのようにしましたか。その理由も教えてください。

名称: 理由:

問3 所有者の渡辺さんは、どのような場所になることを期待していますか。

.....